



東っ子だより

夢にチャレンジ東っ子

自ら学び、心豊かに、たくましく生き抜く東っ子の育成

令和7年度 三根東小学校

学校だより 第14号

令和8年2月25日

文責 校長 原 徹也

いのちについて考える日

今から76年前、昭和25年2月13日午前8時10分頃、筑後川の渡し船が強風にあおられ転覆し、本校の子どもたち6名の尊い命が失われるという大惨事が起きました。毎年この事故のことを語り継ぎ、亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、子どもたちに命の大切さについて考えさせる取り組みを行っています。

集会では、読み語りファンタジーの方々が作られた紙芝居で、事故の様子を子どもたちに伝えてもらい、童謡、唱歌を歌う会の方々と全校児童で「花供養の歌」を歌いました。その後、弟（福田紀男さん、当時小学校3年生）をなくされた古賀絹子様、事故当時の様子や命の大切さについて話をしていただきました。最後に、参加者全員で亡くなられた方々へ黙とうを捧げました。

遺族の皆様、読み語りファンタジーの皆様、童謡唱歌を歌う会の皆様、区長様、民生委員様、保護者の皆様、お忙しい中に集会に参加していただき、本当にありがとうございました。



1年

わたしはいのちをたいせつにしようとおもいました。かわいそうだとおもいました。

1年

いのちはとてもだいじなものだとおもいました。かぞくのみんなをかなしませたくないです。

3年

ぼくが生まれていないときにこんなことが起きているとは思いませんでした。人がなくなるとはとても悲しいことだと思いました。六じそうのお話を聞いて、命を大切にしようと思いました。

2年

今日の話聞いて、ちくご川のおそろしさや、なくなった人の気持ちも少しわかりました。自分はこれまで、あんなやさらかな川が、あんなおそろしいことをすると思いませんでした。これからは、ちくご川のじこについて、考えてみたいと思います。

3年

2月13日にてんぷく事故があって、船に乗っていた人たちが川に落ちて6人なくなってとてもかなしい、命を大切にしてくださいとはなされました。だから今までよりもっと命を大切にします。

2年

今日の話聞いて、いのちはとてもたいせつだとわかりました。自分はこれまでそんなにじこはおこらないとおもっていたけど、自分の近くでおこるんだと思いました。これからは、こうつうじこにきをつけてすごしたいです。

4年

集会に参加して、命を大切にしようと思ったし、古賀さんの話を聞いていると、悲しくなりました。命の大切さを教えてくれてありがとうございました。体にお気を付けてください。

4年

私が今日の集会で一番心に残ったのは古賀さんの話です。76年前昭和25年に古賀さんの弟さんが乗っていた渡し船が転ぶくして古賀さんの弟を含む6人がなくなっていて悲しかったです。私が自分で大事だと思ったことは、古賀さんの話の中にあつた「この日は何年たつても忘れられませぬ。」「命は1つしかありませんので大切にしてください。」です。

5年

命について考える日で私は、命の大切さを学びました。紙しばいを見たり、古賀絹子さんのお話を聞いて、どんなに弟さんがつらい思いをしたか、6人の親が悲しい思いをしたかがすごく伝わってきました。命は一つしかなく、なくなつたらもうもどらない。お金では買うことができない。だから今、命を大切に、大切に生きていきたいです。これからは、友達や家族、みんなの命と自分の命を大切にしたいです。この日を忘れずに毎日を過ごしていきたいです。

5年

古賀絹子さんの話を聞いて、今までよりももっと命を大切にしようと思いました。命があることはとても幸せなことだと思いました。だから毎日命があることをうれしく思い、一日を大切にしながら過ごそうと思いました。古賀さんが話をされている時の表情を見ていると、家族が亡くなると毎日頭の中に出てくるくらい悲しいし辛いんだと思いました。私も家族がもしなくなつてしまつたら悲しいです。だから家族や友達のことも大切にしようと思いました。これからいつ、何が起こるかかわからないので、交通事故などに気を付けながら過ごしたいです。

6年

今日、命について改めて考えることができました。古賀さんの話で、毎日弟さんたちを探しても、なかなか見つからなかつたそうです。とてもつらかつたろうと思いました。また、舟が転覆した時、先生や高学年の人たちがおぼれている人たちを助けたそうです。みんな寒かつたろうなあと思いました。

毎年命について考える集会があつたけど、中学生になつたらこの集会がないので、命の大切さを学ぶ機会が減つてしまわないように、これからも命について考えていこうと思います。

6年

渡し船で筑後川を渡っている時に、強風がきて船が横転して6人のかたが亡くなつて、まだ未来がある小学生たちがいっしゅんで命をうばわれてしまつて残酷だなあと思いました。遺族の古賀さんの弟は事故から何日たつても発見されず、見つかつた時は息はしていなくて……。その話を聞いた時には本当につらかつたろうなあと思いました。これからも、友達の命や家族の命、自分の命を本当に大切にしていきたいなあと思いました。

6年

命について考える日で、改めて命の大切さや当時のことを知ることができました。いつ、どんな出来事が起きるかかわからないから、今を大事に生きていきたいと思いました。船が転覆した時、6年生が下級生を助けたと聞きました。私は、川に落ちたら、自分が助かるためにまず陸を目指すと思います。だからその6年生を尊敬するし、そういう人になりたいと思いました。今は、天建寺橋がかけられ、安全に登校できていることに感謝し、あと少しの小学校生活を楽しまたいです。亡くなられた方のためにも、この集会は続けていくべきです。